

編集後記

2024年は年明けに能登半島地震が発生し、未だ災害に関連した被害が続いている状況です。被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。大きな災害の前に無力さを感じますが、被服衛生学は安全や健康に関連の深い、人間に最も近い被服を扱っていることをあらためて肝に銘じ、できることを進めていく所存です。

第43号の巻頭言は、部会長の潮田ひとみ先生の「災害大国日本で被服衛生学の役割を思う」です。被服衛生学の知見をいかに具体的に発信していくか、その重要性についてご執筆下さいました。また、名誉会員の齊藤秀子先生には、特別寄稿をいただき、被服衛生学部会での学びやご経験について、被服衛生学、共同研究、教育、地域貢献、部会運営の5つの視点からおまとめいただきました。

オンラインで行われた、2022年2月の遠隔公開講座および2023年7月の講演会の報告も掲載されております。新型コロナウイルスの感染防止対策のみならず、全国から参加者が気楽に集い、実りある情報交換を行うことができるというオンラインならではのメリットについても気づかされました。一方で2023年度は、夏季の被服衛生学セミナーが奈良女子大学にて、久しぶりの対面形式で開

催され、直接顔を合わせて集まり、研究交流を深める良さや喜びを、改めて実感しました。実行委員長の芝崎学先生のご報告からもわかるように、公開シンポジウム「被服とともに生活する～新たな気づきと意識改革～」、およびインクルーシブデザインのワークショップを含む大変充実した内容でした。

その他、学位論文紹介、海外レポート、研究室紹介、著書紹介などの記事を掲載しております。どうぞお読みくださいませ。

なお、今号において査読論文の投稿を集めることができませんでしたことお詫び申し上げます。本誌はこれまで、部会誌ながらも査読付の論文を掲載するという貴重な役割を果たしてきました。会員の皆様におかれましては、どうぞ成果発表の選択肢のひとつとして積極的に投稿をお考えいただきたいとよくお願い申し上げます。同時に、編集委員会では、本誌をより魅力的なものとするべく、委員一同アイデアを出しながら執筆要領等を精査し検討を進めているところでございます。

最後に、第43号発行にあたり、お忙しい中、ご執筆にご尽力くださった皆様に心より感謝を申し上げます。
(2024年3月 西原直枝)

被服衛生学 第43号

2024年（令和6年）3月20日発行

発行者（社）日本家政学会被服衛生学部会

URL：<http://hifukueisei.jp/>

代表 潮田ひとみ

事務局： 庶務 野上遊夏

〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1

東京家政大学短期大学部

事務局： 会計 松井有子

〒151-8523 東京都渋谷区代々木3-22-1

文化学園大学

印刷所 山一印刷株式会社

〒272-0021 千葉県市川市八幡3-8-13

TEL：047-323-3291